

地球環境を考える 12 はたらくドローン

企画・編集
SAPIX 環境教育センター
www.sapientica.com/eco
SAPIX YOZEMI GROUP

ウェブページ



登場人物

ペメ
ギリシャ神話の女神。
世界で見聞きたことを、
みんなが知るまで
話し続けます。



だいたいさつぷ。
赤外線カメラを使って
いるので、夜でも撮影が
できます。

えー！じゃあ
ほくからその光が！
赤外線カメラのことです。
その赤外線をとらえて映し出す
ことが出来るカメラのことです。
ちなみに、赤外線は、人の目に
見えない光の
一種です。

すー！
くっきり見えるー！
【イノシシ】
【シカ】
そうです。これが実際に
撮影した画像です。

ドローンの調査データがあのほど
今までより効果的に
わなを仕かけたり
狩りをする場所を
決めたりすることが
できます。

おー！
ドローンの役割はさらに広がって
いるんですね。
これが最終回。
今まで読んでくださった方
ありがとうございました。
来月から新しい連載が始まります。

写真提供・協力/株式会社スカイシーカー

なので、被害を防ぐために、
国をあげて、さまざま
取り組みが行われているのですが、
最近期待されているのが、
ドローンです。

これまで、猟師がつかまえた
動物の数や、ふんの量などから、
畑をあらす動物がどれくらいいるのか、
どのくらいいるのか、おおまかな数を
予測していました。

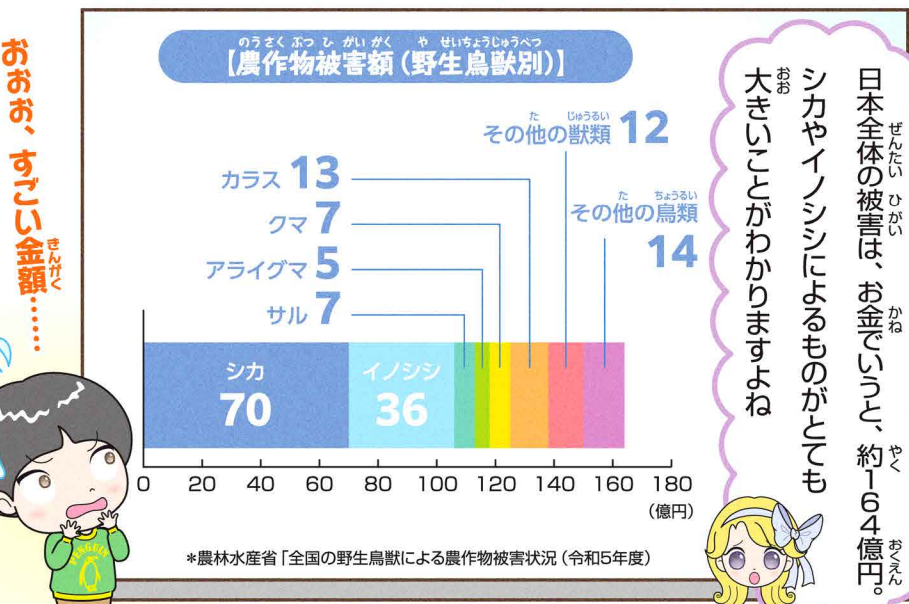
それが今、このように、
調査したい場所に夜
ドローンを飛ばして

動物の数や行動範囲を
調べられるように
なりました

シカやイノシシは夜に活動する
動物なので、夜中にえさを
探して森から
畑にやっ
て来ます。
なるほどー。
けれど、真暗に
撮影できないじゃないか。

けんめいに育てたのに、
やられたー！
うわー！
食べられているね。
虫のしわざ！
いや、
シカだね
シカ!?

近年、農作物が野生動物に
食いあらされる
被害が多発
しているんだ
そうなの？
イノシシやサル、クマなどが
民家の近くに現れたと
ニュースをよく見ると
思いますが、実は
農作物の被害も
すごいです
へえー



畑や田んぼに野生動物が
やってくる原因(例)

- 1 天敵がいなくなったり減ったりして、数が増えすぎて食べ物に困っている。
- 2 猟師の高齢化が進み、狩りをする人が少なくなったので、人間をおそれなくなった。
- 3 人間の食べ物がおいしいことを知って、好んで食べるようになってしまった。

畑に来れば
おいしいものが
たーらふく
食べられるー！

このままでは、
農作物を作ることが
あきらめる人が増えて、
農地がなくなっていかも
しません
そだねー

